

▶▶▶ P.80～85「情報化した社会とわたしたちの生活」の最後に学習してください。

★ 点数 ★

①:20点 ②～⑥:1問16点

点

！覚えよう！

次の にあてはまる言葉を書きましょう。

- ・テレビや新聞といった ① は大きな災^{さい}害^{がい}があったときには適切な^{てきせつ}情報^{じょうほう}を伝える役わりを果たしています。テレビ局は予定されていた番組や ② を中止して、しちょう者にひなんをよびかけたり、さまざまな情報を発信したりします。
- ・災害のときには、 ③ が発生し、テレビやインターネットなどが使えなくなることも考えられるので、電池で動くラジオや手動^{じゅうでん}で充電のできる機器が役に立つこともあります。
- ・多くの情報機器をつないで情報をやり取りするしくみである ④ 情報^{ぼうさい} を防災や災害時の情報伝達に生かす取り組みを行っている県や市が ^ふ増えています。事前に登録をしておくことで、右のような ⑤ を受けることもできます。
- ・ ④ のしくみが使えない人もいるので、スピーカーで情報を伝える ⑥ も重要な役わりを果たします。



▶▶ P.80～85「情報化した社会とわたしたちの生活」の最後に学習してください。

★ 点数 ★

点

1 (1) 1問15点 (2) 20点 **2** (1) 1問15点 (2) 20点

1 ^{さいがい}災害のときのメディアの役わりについて、次の問題に答えましょう。

(1) 災害のときの放送局の役わりを説明した次の文章の
 にあてはまる言葉を書きましょう。

放送局は、気象庁や警察などから正確な^① を集め、それをしちょう者に^② する役わりがある。

(2) ふだんの生活では、テレビやインターネットはとても便利なメディアですが、災害時には使いにくくなることがあります。それはなぜですか。
 () から。

2 情報ネットワークについて、次の問題に答えましょう。

(1) 情報ネットワークのしくみを防災に生かすための取り組みとして、正しいものには○，まちがっているものには×をつけましょう。

① () インターネットやメールは便利なので、これらでの情報発信を最優先に行う。

② () 災害時の情報発信は、日本語だけでなく外国語でも行うとよい。

(2) 防災〔行政〕無線は、災害がないときも、毎日、時報などを流しています。これは時刻を伝える以外にどんな目的があると考えられますか。

()

答えとおうちのかた手引き

93

情報化した社会とわたしたちの生活

防災にいかすメディアとネットワーク

リかい

- 覚えよう ①マスメディア ②コマーシャル
③停電 ④ネットワーク
⑤メール〔電子メール〕 ⑥防災〔行政〕無線

ポイント

テレビ局は、災害時にも安定して情報の発信が続けられるように、複数のネットワークを用意したり、発電そうちをそなえていたりします。「情報ネットワーク」のしくみを防災や災害時の情報伝達に生かそうとする県や市が増えています。情報ネットワークのしくみは便利ですが、インターネットやメールを使えない人のために、音声で地域全体に情報を発信することも大事です。そのしくみの一つが「防災〔行政〕無線」です。

94

情報化した社会とわたしたちの生活

防災にいかすメディアとネットワーク

練習

- 1 (1) ①情報 ②発信〔伝達〕
(2) 停電が起こることがある(から。)
- 2 ①× ②○
(2) 災害時にきちんと情報発信ができるように、こわれていないかを確認する目的。

ポイント

1 (2) マスメディアからの情報の受け手である私たちは、災害時に起きる停電その他の事態によっては、ふだんは便利なテレビやインターネットが使えなくなることにもそなえておく必要があります。電池で動くラジオなどを用意しておくといでしょう。

2 (2) 防災〔行政〕無線は、災害などのいざというときにきちんと動かないと意味がありません。ふだんから時報を流すなどして、こわれていないかを確認するようにしています。